

6号機高圧電源盤6Cの電源停止 及び火災報知器の作動について

2024年6月27日

東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

1. 事象の概要

■ 概要

2024年6月18日 08:33頃 6号機M/C 6A-2(1B)しゃ断器がトリップし、M/C 6C(6B)受電しゃ断器がトリップ(M/C 6C母線停止)により、D/G6Aが自動起動する事象が発生。

合わせて、FPCポンプ(B)がトリップした。

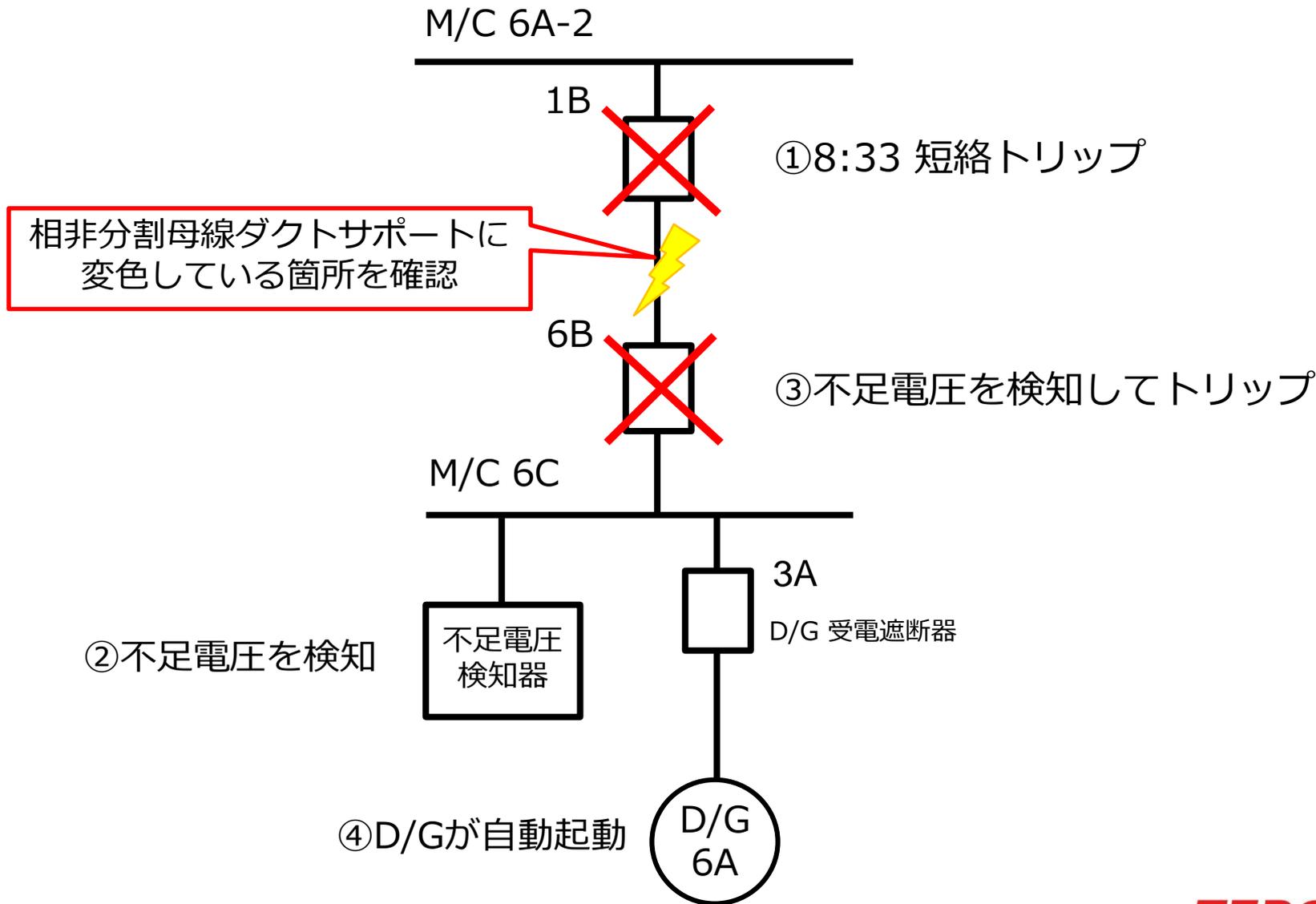
また、08:35頃に6号機T/B地下1階の火災報知器が発報した。

■ 時系列

- 6/18 08:33頃 M/C6A-2(1B)しゃ断器トリップ、M/C6C(6B)(M/C6C受電しゃ断器)トリップ
D/G6Aが自動起動したこと、FPCポンプ(B)がトリップしたことを確認
- 08:35頃 6号機T/B地下1階の火災報知器が発報
- 08:52 初期消火隊現場到着
- 09:18 6号機T/B地下1階、煙あり・火なしを確認
- 11:33 公設消防より発煙が停止していることを確認
- 11:40 相非分割母線※のダクトサポートに変色があることを確認
- 18:19 停止したFPCポンプ(B)を再起動し、使用済燃料プールの冷却を再開
- 6/19 15:15 足場組上げ後、現場確認をした結果、公設消防により「火災」と判断

※相非分割母線：3相全ての母線を収容している金属製の筐体

1. 事象の概要（補足：M/C 6C単線結線図）



2. 現場状況

- しゃ断器の点検結果および相非分割母線の絶縁抵抗測定結果、相非分割母線のダクトサポートの変色状況を確認 (6/18)
- 相非分割母線外観確認の結果、相非分割母線ダクトカバー及び相非分割母線本体にアークによる損傷を確認 (6/19)
- 現場状況から、短絡が発生し導体および絶縁物が溶融したものと推定
- ダクト開放時に金属片が確認されたが、金属片がダクト構造物であるか、当該金属片が短絡の原因であるかについては調査中

■ 消防判断

- ・ 2024年6月19日 15:15 公設消防により「火災」と判断

2. 現場状況 (6/18調査)

・ 6/18確認状況

しゃ断器の点検結果および相非分割母線の絶縁抵抗測定結果、相非分割母線のダクトサポートの変色状況を確認

<点検項目および点検結果>

確認項目	確認結果
相非分割母線外観確認	サポート付近に変色あり

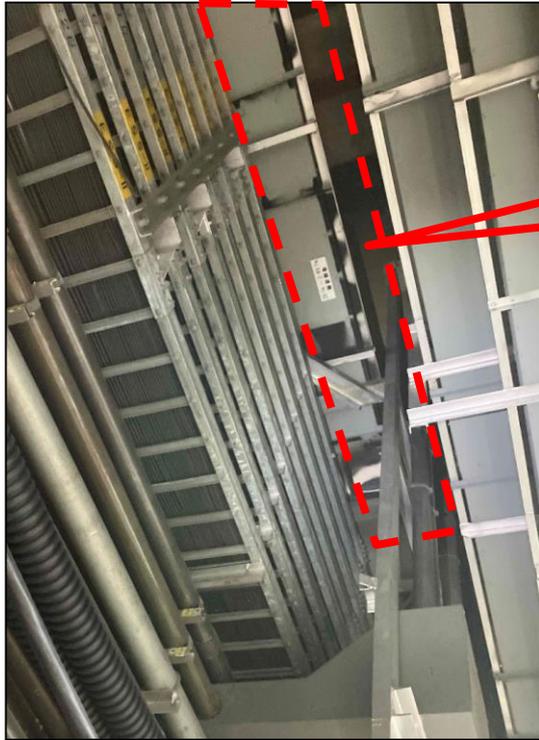
確認項目	確認結果
しゃ断器点検 (6A-2(1B)、6C(6B))	異常なし

確認項目	測定箇所	測定箇所	測定結果(MΩ)	
絶縁抵抗測定	M/C6A-2~M/C6C	対地間	R-E	0.003
			S-E	0.002
			T-E	17
		相間	R-S	0.004
			S-T	19
			T-R	21

2. 現場状況 (6/19調査)

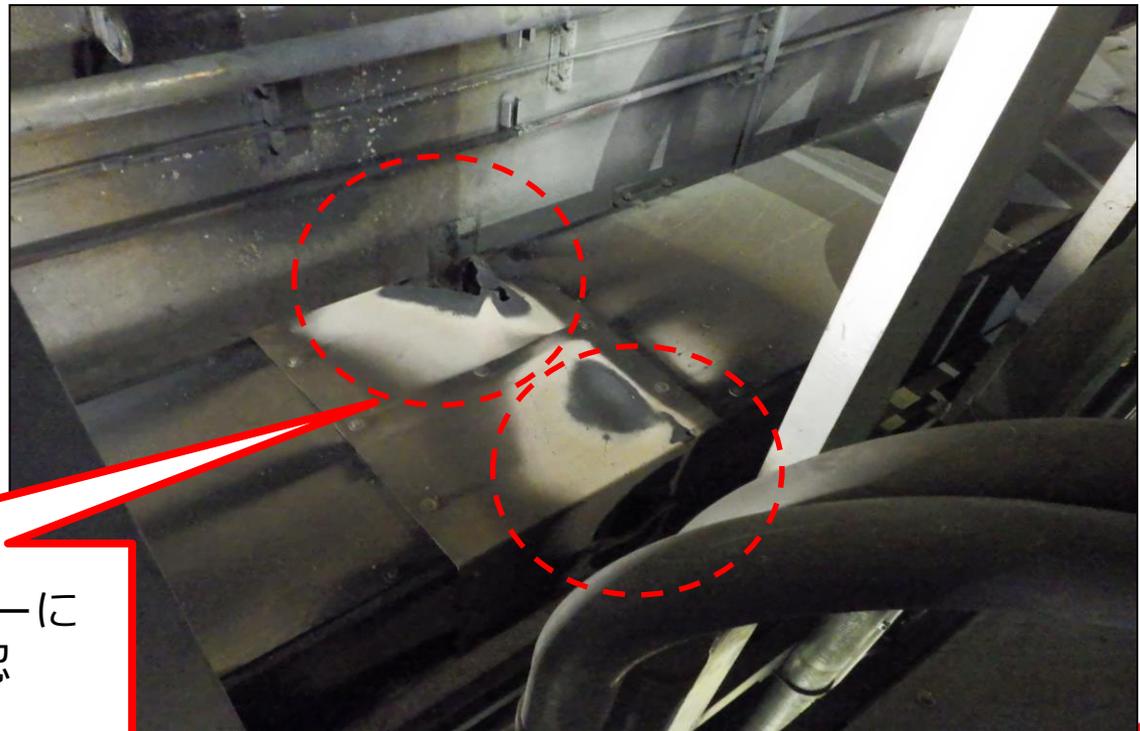
・ 6/19確認結果

相非分割母線ダクトカバー及び相非分割母線本体にアークによる損傷を確認 (6/19)



相非分割母線(見上げた状況)

6/18に相非分割母線のダクトサポート付近に変色があることを確認
当該部分について、6/19に調査を実施

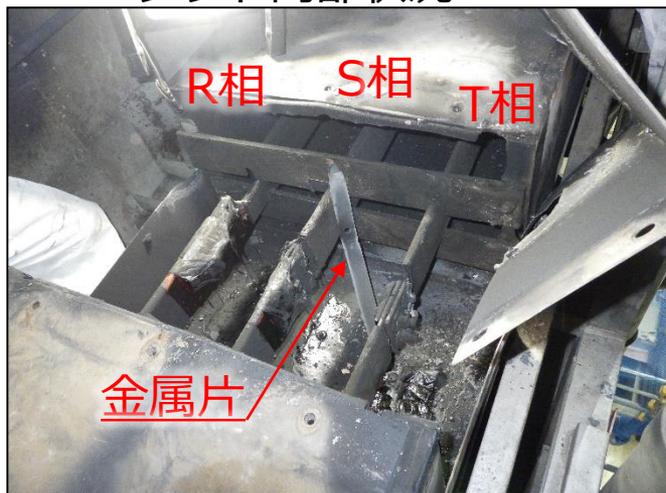


相非分割母線(上から見た状況)

相非分割母線のダクトカバーに
アークによる損傷を確認

2. 現場状況 (6/19調査)

■ ダクト内部状況



<事故推定箇所>



<金属片>



<健全状態>



<R相>



<S相>



<T相>

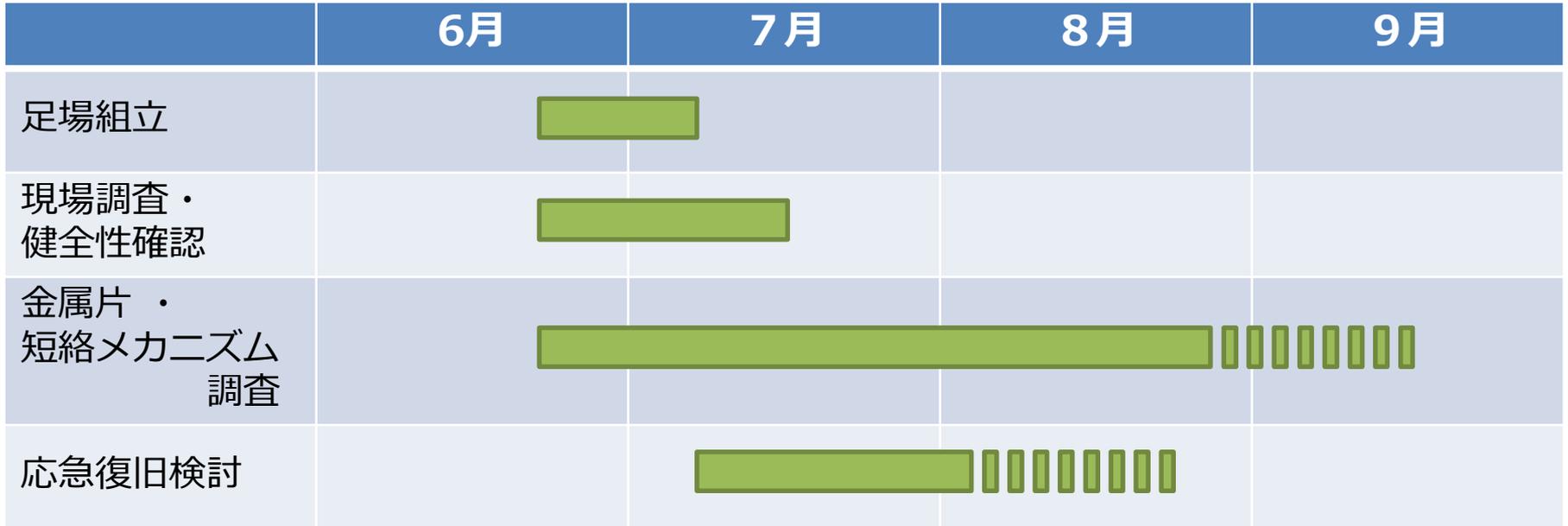
3. 今後の対応状況について

■ 今後の対応

現場状況から、短絡が発生し導体および絶縁物が溶融したものと推定されることから、以下の項目について調査・検討を行う。

- ダクト内の金属片調査
 - ・ 金属片が短絡原因であるか
 - ・ 金属片がダクト構造物か否か
- 短絡に至るメカニズム
- 当該損傷部以外の相非分割母線の健全性確認
- 上記を踏まえた応急復旧方法の検討

4. 今後のスケジュール



4

6号機T/B建屋

5号機T/B建屋

M/C6A-2

相非分割母線ダクトサポート
付近に変色している箇所が
あることを確認

ケーブルとノンセグ接続部
の健全性は確認済み



M/C6C

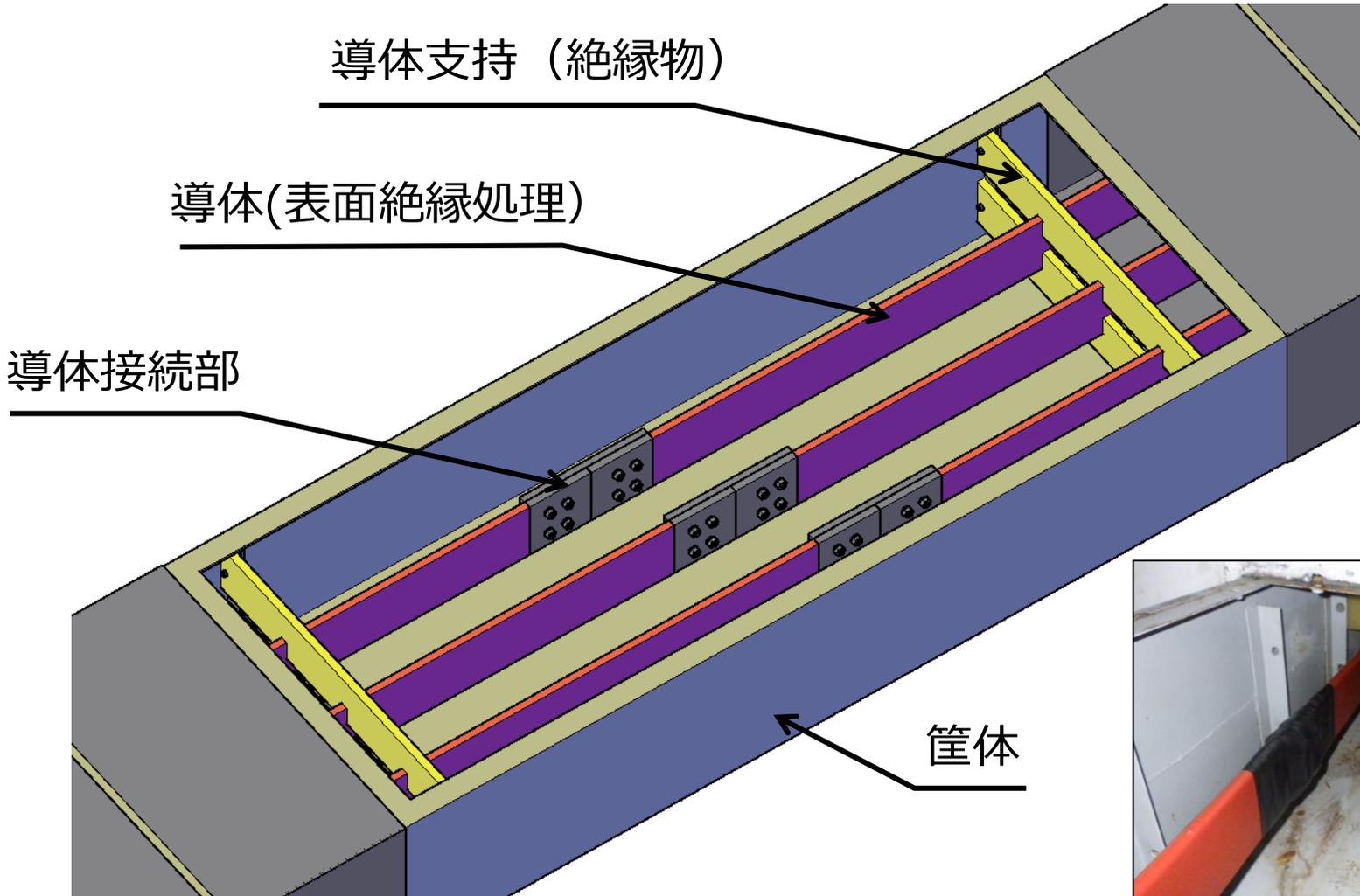
6号機C/S建屋

(凡例)

— 相非分割母線

— ケーブル

【参考】相非分割母線構造



相非分割母線 現場写真